

今号の主な記事

- ◇住宅用太陽光発電システムの設置に補助 ……2面
- ◇市営住宅などの入居者募集 ……2面
- ◇児童扶養手当が父子家庭にも支給 ……2面
- ◇夏のイベントカレンダー ……8面

原爆犠牲者への追悼と世界平和を願う「平和灯ろう流し」



終戦から65年を迎え、戦争や被爆を体験された方が少なくなっている今、戦争や原爆の悲惨さ、恐ろしさを次世代に継承することが求められています。

恒久平和の実現を目指し、原水爆禁止西宮市協議会と市は、平和の大切さ、尊厳について市民の皆さんに考えてもらえぬように、さまざまな平和啓発事業を行います。問合せは原水爆禁止西宮市協議会(0798・35・3473…秘書・国際課内)へ。

平和と命の尊さを継承

終戦から65年、未来を担う世代に

「原爆展」を開催

7月21日から26日まで、ギャラリーフレンテと西宮市国際交流協会展示コーナー(いずれもフレンテ西宮4階)で「原爆展」を開催します。

時間は午前10時(21日は11時)から午後6時(26日は正午)まで。入場無料。主な内容は次のとおりです。

被爆資料・写真パネル

広島平和記念資料館が所蔵している被爆現物資料20点や原爆の絵・写真・パネルを展示します。

第五福竜丸の被爆資料

マグロ漁船・第五福竜丸は、昭和29年にアメリカがビキニ環礁で水爆実験を行った際、被爆しました。当時の様子を記録した写真・パネル、乗組員あてに西宮市民が書いた励ましの手紙など

5コーナーで展示・解説

平和資料館は、西宮が戦争で被害があったことを風化させないように、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ場です=左写真。

市民の皆さんから提供してもらった戦時中の資料や西宮の写真パネルなどを展示しています。「戦争と家族」「戦時下の暮らし」「戦地にて」「空襲」「未来へむけて」の5つのコーナーに分けて解説しています。

問合せは平和資料館(0798・33・2086)へ。
【開館時間】午前10時～午後5時
【休館日】月曜
【入館料】無料



平和資料館



どを、第五福竜丸平和協会の協力を得て展示します。

企画展 「紛争と小型武器」

私たちが取り巻く国際社会は大規模な武力紛争の発生こそ低下したものの、民族対立や国内紛争など小規模な武力紛争の発生は増加しており、そこで使用される大量の小型武器が新たな脅威となっています。

企画展「紛争と小型武器」では、小型武器の脅威やこの問題に対する日本の取り組みについて紹介します。

折り鶴コーナー

平和への祈りを込めた折り鶴を作ってもらい、後日、広島平和記念公園の「原爆の子の像」にささげます。

被爆体験者の講話

7月25日の午前11時半、午後2時半から西宮市大学交流センター

市長からのメッセージ

恒久平和の実現を願う



今年で終戦から65年になります。戦争を体験していない世代が多くなっている現在、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次の世代へ伝えていくことが大切であると考えます。今年も原爆展をはじめとした、さまざまな平和啓発事業に取り組みます。

また先ごろ、アメリカ・ニューヨークにおきまして、核拡散防止条約再検討会議が開催されました。この会議における成果が世界の核軍縮への大きな追い風となり、我々の目指す恒久平和の実現に向け大きな一歩となることを切に願います。

こうした流れを受けて、本市も核兵器廃絶を求める平和市長会議へ加盟し、世界の都市とともに平和への取り組みを進めていかなければならないと考えています。皆さんも、一人ひとりが平和の尊さを考えていただければ幸いです。

西宮親子劇場

平和の大切さをテーマにしたコンサートや映画会を開催します。問合せは西宮親子劇場(0798・34・2341)へ。

平和灯ろう流し

原水爆禁止西宮市協議会、西宮市原爆被害者の会などは、原爆犠牲者への追悼と世界平和を願う「平和灯ろう流し」を行います。

皆さんも平和へのメッセージを描いた灯ろうを作って参加してみませんか。小雨決行。

【日時・場所】8月7日午後7時から鳴尾新川(左地図参照)
※午後6時から鳴尾東公民館で被爆体験講話を開催。入場無料。定員40人。当日先着順(受付は5時半から)

平和非核都市

本市は昭和58年12月に「平和非核都市宣言」を行いました。このシンボルマークは地球をハトで包み恒久平和への願いを表現しています。

